

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,449,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,377	10,372	11,165	10,662	10,231
	移動児童館利用者数	411	490	495	648	212
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	18	20	17	20	9
	開館日数(単位:日)	157	152	157	151	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正規職員(1名)、嘱託職員(1名)。 ③センター便り・幼児用センター便りの発行・配布、行事案内ポスター掲示、幼児クラブの案内掲示、児童センターホームページ掲載。 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。おもちゃの点検・消毒は定期的を実施。利用者が気持ちよく遊べる環境づくりに努めている。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル・リユース)に努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(法人)並びに岐阜市に要望を提出。おもちゃ病院の活用。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③問題なく履行されている。 「危機管理マニュアル」、「岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程」等に沿って適切に実施。防災訓練毎月実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年7月11日～25日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数28人(回収率100%)
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・あいさつ 満足20人(71%)、ほぼ満足5人(18%)、普通3人(11%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%) ・言葉遣い 満足20人(71%)、ほぼ満足7人(25%)、普通1人(4%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%) ・対応 満足20人(72%)、ほぼ満足8人(21%)、普通2人(7%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%) ○施設について ・整理整頓 満足18人(67%)、ほぼ満足8人(29%)、普通1人(4%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%) ・使いやすさ 満足17人(65%)、ほぼ満足7人(27%)、普通2人(8%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 おもちゃをアルコールなどで拭くものの設置 ⇒ 誤飲のおそれあり、職員が消毒して片づけるので声掛けをお願いしたい。 ベビーカーで来館した場合の入口の段差について ⇒ ベビーカーを玄関の中に入れて利用をお願いしたい。 夏も9時閉館にして欲しい ⇒ 岐阜市に要望する。 ・その他意見 楽しく参加できた。小さい子から大きな子まであそべる内容で良かった。掃除が行き届いていていつも気持ちよく使っている。夏休みは自由参加のクラブがありが良かった。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	事業の見直しを行い、0歳や1歳の幼児クラブを新規に開設、実施することで、0歳の利用者が昨年度8月までと比較すると2倍以上増えた。また、児童に対する事業も昨年よりも土曜日、夏休み期間を中心に回数を増やすことで、利用者増を図った。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	幼児親子の利用者を増やすことを考え、昨年度までの事業を見直し、夏季期間の水あそびのクラブなど自由参加型の幼児クラブの新規開設や回数を増やした。また、安全を配慮した年齢別の幼児クラブを毎週行うことで、同じ世代の幼児とのふれあいを求める、保護者への要望に応えた。 児童に対する事業の中で、中学、高校生が参加できる事業を毎月2～3回、小学生など年齢の低い児童とのふれあいを大切にしたい。
今後の取組み	さらに事業の見直しを行うことで、利用者を増やす。

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより配布・ホームページ掲載等による広報活動を実施。 0歳や1歳の幼児クラブを新規に開設・実施、また、児童に対する事業を昨年よりも土曜日、夏休み期間を中心に回数を増やすなど、事業の見直しを行った。 小学生から大人までのボランティアが事業運営に関わる機会をつくり、自主的な活動に結びつけるよう支援すると共に、人材育成と質の向上に努めた。 来館利用者数(児童館担当地区の人口増減率で補正後)の実績112.4%(対前指定期間比)のため、「利用促進、利用者増の方策」をS評価とする。 事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。 地元の関係機関との交流や地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、地域に貢献した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。 なお、広報の方策として、岐阜市の子育て支援サイトである「ぶりがネット」の活用も検討していただきたい。</p>
--